

消防研修に参加して

このレポートは、北九州消防局のご好意により、
同局に提出されたものを転載させていただきました。

JICA 第 1 回研修員

アフドゥラマンカリッチ

(トルコ共和国)

1 研修内容について

研修全体としては、適切なカリキュラムが作成されており、とても素晴らしいものでした。特に耐熱耐煙施設を利用しての訓練では、一つひとつの技術に対する説明が非常に良くされ、なぜ、いつ、どのようにという質問についての答を見つけることができました。

2 改善すべき点と良かった点

(1) 実技訓練は、建物の構造、素材、防災施設、消防力とによって行われ、基本的な消防戦術はどの国でも同じなので、指揮者が火災についての原理を良く理解しておくで自分で戦術を作り出せる。そのため、もっと講義の時間を増やして欲しい。

(2) この研修の構成及び消防職員と研修員の関係は非常に良かったと思う。私は、特に困ったことはなかった。北九州市の消防職員は、皆親切でいつも助けてくれた。

(3) 北九州市消防局訓練研修センターはこのコースを行うのに適当な場所であり、訓練のための施設や資機材は十分にある。

3 帰国後、この研修をどの様に役立てるか及び JICA に対する要望

(1) 帰国後、日本の消防について、大学教授、市長、消防局長、その他総員 20 名の幹部を前にレポート発表を行います。その会議では、日本の消防資機材や消防士になるための資格などについて話し合いがあり、また、ロンドン、東京、パリ等の大都市の消防組織体制について比較検討を行う予定です。

(2) 私はこの研修で多くのことを学んだが、一人では十分ではない。トルコでは、救助業務に専門の講師が必要であるので、JICA から講師を派遣してもらいたい。これによって日本の技術を多くの消防職員が学ぶことができる。

(3) 北九州市消防局とイスタンブール市消防局が、友好関係を結ぶことを提案する。

(4) 今後も消防に関する資料を送って欲しい。

4 日本についての印象

この研修を通じて日本の人々を知ることができたのは、私にとって一番の収穫だったと思う。

日本人の印象は、1 番目に働き者、2 番目に

礼儀正しく、3 番目に大変親切でした。

本当に日本と日本人は素晴らしいと思います。

JICA 第 3 回研修員

シェハートル

(セネガル共和国)

1 研修について

このコースは、最新の消火技術を学ぶ上で完璧なものでした。また、講義と訓練との繋がりも適切であったし、全ての研修が非常に理解しやすく興味深いものでした。

特に素晴らしかったのは、消防署での実務研修で、日本の消防組織に直接ふれることができました。

指揮理論と火災防御論は、自分の国での体制に合っており、素晴らしいものでした。総合的に、このコースは、全分野において興味深く、かつ、価値のあるものでした。

2 改善すべき点と良かった点

このコースで必要なのは、講義より訓練(実技)です。このコースは、訓練に重点がおかれていた点でも素晴らしいものでした。このコースの講師の方々は、とても素晴らしかった。彼等は、常に、私たちに全てを見せ、説明し、私たちの質問に正確にそして完璧に答えようと努力してくださった。このコースの難点をあげれば 2 点あります。第 1 に、日本での火災予防に関する研修が短かすぎたことです。2 日間では、とてもこの重要な課題を自分のものにするにはできませんでした。第 2 に、宿泊を伴う実務研修を少なくとも月 2 回に増やしたほうが良いと思ったことです。

3 帰国後、この研修をどのように役立てるか、また、JICA に対する要望

この研修の多くの内容は私にとり未知のものであり、とても重要でした。これらの知識は我が国の消防に大いに役立つものであろうと確信しています。これらの知識を自分自身が実践するとともに、私の部下にも教えたいと思います。また、私の上司も私が得た知識から学ぶことが多いと思います。

4 日本についての印象

来日する前に日本についての多くの好意的な情報を得ていましたが、来日後、日本人にとっても良い印象を受け、それは日に日に強くなり、今では日本に強い愛着を持っています。まもなく帰国しますが、多くの日本人の友人と別れ、この美しい国を去らねばならないのはとても悲しいです。私は、日本の皆様から受けたもてなし、親切そして礼儀を決して忘れないでしょう。

ありがとうございました。